



埼玉の造り手

Vol. 43

(株) WILLIAMS
(WILLIAMS
BREWERY)

異色の経歴を持つオーナーの個性派クラフトビール

埼玉県東部に位置する久喜市でクラフトビールを醸造する「WILLIAMS BREWERY」。店名は、進藤社長が魅了された、多様なジャンルが交わり、新たな文化が生まれている米国ニューヨーク州ブルックリンの「WILLIAMS BURG」に由来する。

進藤社長は中学生時代、ホームステイ先の米国で見たカラフルなビールラベルに心を奪われデザイナーへの夢を持つ。その後、飲食業への関心も高まり、大学卒業後は大手企業で飲食店経営のノウハウを学んだ。さらに音楽にも傾倒し、退職を機にDJの勉強にニューヨークへ渡航。ウィリアムズバーグのバーで出会ったクラフトビールの奥深さに感銘を受けた。

26歳の時、久喜市で洋服店を開業し、デザインの仕事も手掛けっていた中、空きテナントの情報を受け、念願だったレストラン経営に乗り出した。当初は全国のクラフトビールを仕入れて提供していたが、コロナ禍の営業自粛を機に醸造免許を取得し、自社醸造を開始した。これまで多くのオリジナルビールを生み出し、個性あふれる味わいで多くのファンを魅了している。



株式会社WILLIAMS

(WILLIAMS BREWERY)

<https://williams-brewery.com>



タップから注がれる至福の一杯。ホップの香り
麦のコク、職人のこだわりを味わえます。どれ
から飲むか悩んでしまいますね



限定ビールは独創的なフレーバーで大人気！

WILLIAMS BREWERYのクラフトビールは、多彩なフレーバーと独創的なスタイルが魅力だ。定番は、しっかりした苦みとキレが特徴の「NIGHT SHIFT (IPA)」、オレンジピールのさわやかな香りで女性に大人気の「DAY SHIFT (SESSION IPA)」、スパイス感と香草のよくなほのかな香りが印象的な「DAY OFF (FARMHOUSE ALE)」の3種類で、その日の気分や食事に合わせて楽しめる。

限定ビールにも力を入れており、「JAMAICA(ハマイカ)」は進藤社長が滞在していたこともあり思い入れの強いもので、ハイビスカスとオレンジを使ってフルーティーに仕上げている。「NUTTY VANNY(BROWN ALE)」は余分なえぐみは加えず、あっさりとした印象ながらもヘーゼルナッツバニラの香りがどんでもなく広がる一品。このほか地元名産の梨を使うなどユニークなフレーバーが特徴で、ビール初心者にも好評。

また、ブルフリー併設のレストランは、ニューヨークの雰囲気そのままのオシャレな空間で、特製のハンバーガーやピザと共に飲むクラフトビールはより一層おいしい。

The WILLIAMS Brewery



● 読者プレゼント実施中！

WILLIAMS BREWERYの「定番の3種各2本の6缶セット」を1名様にプレゼントいたします。応募は、本コーナーの感想などを添えて、「企業名、所在地、役職・氏名、電話番号、アクセス埼玉2025年4月号WILLIAMS BREWERYのビール希望」を記載の上、so-dan@saitama-j.or.jp宛てメール、または、右の読者プレゼントの二次元コードから、4月24日(木)までに、ご応募ください。当選者の発表および当選商品は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



● 一般社団法人埼玉県物産観光協会の紹介

一般社団法人埼玉県物産観光協会は、日々新しく生まれる魅力的な県産品や生産者の思いを『SAITAMA BRAND』として発信し、多くの皆様に知っていただきたく、「埼玉県新商品 AWARD」を立ち上げました。埼玉県の生産者が技術と伝統、土地の恵みを生かして開発した素晴らしい商品をご覧ください。

<https://chocotabi-saitama.jp/award>